

クローイング・アップ・2 ゴイング・ステディ

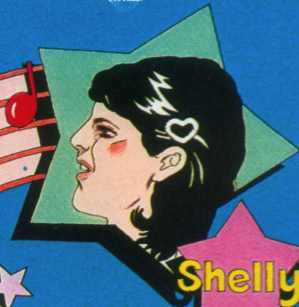
ベンジー・イフタク・カズール
ボビー・ジョナサン・シーガル
ヒューイ・ツァッチ・ノイ
タミー・イボンヌ・ミカエル
マーサ・レイチェル・スタイナー

製作メナハム・ゴラン ヨーラム・グローブス
監督ボアス・デビッドソン
脚本ボアス・デビッドソン エリヤ・ティバー
撮影アダム・グリーンベルグ
● サントラ盤LP エビック・ソニー
● シングル キング・ビクター
エビック・ソニー
〈カラー作品〉アメリカ・イスラエル合作
日本ヘラルド映画 Herald

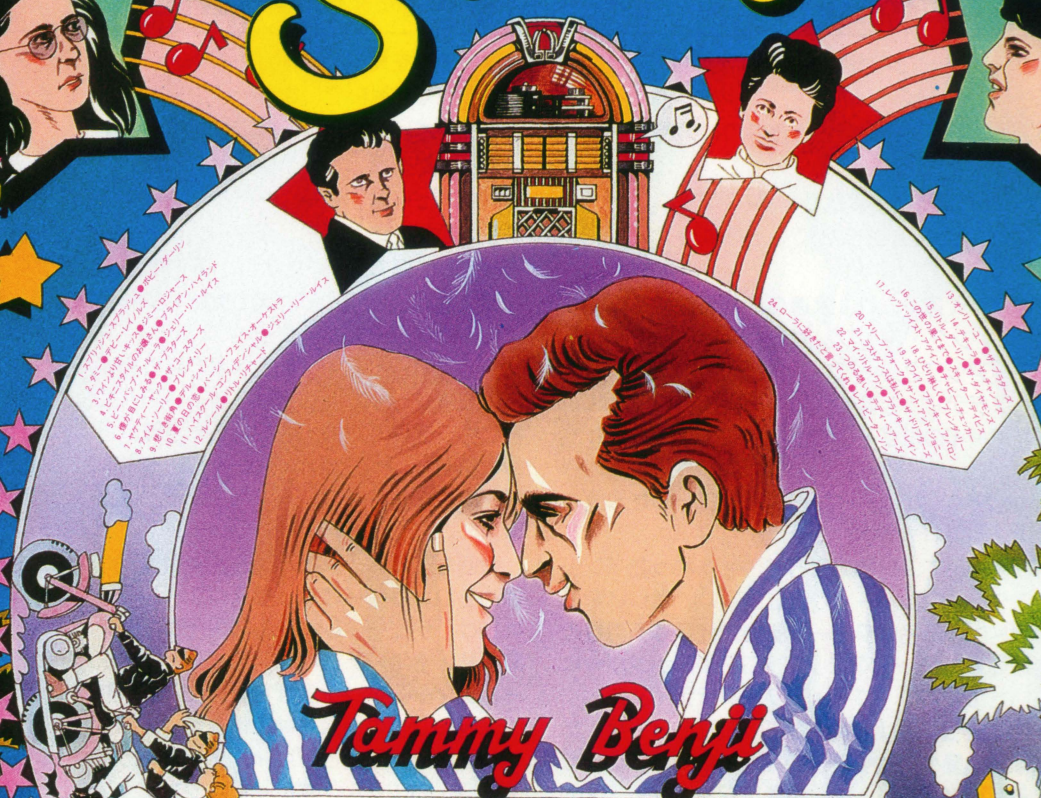
Going Steady



Martha



Shelly



Tammy Benji

マイ・ステディ・ガール
君とならば大人になれる

青春を輝かせたあの3人組が帰ってきました。



Bobby

Huey



KAZU KURA

★全篇に流れるオールディーズヒット全24曲★ 24 SONGS OF OLDIES HITS

スブリッシュ・スブラッシュ……………ボビー・ダーリン
タミー……………デビー・レイノルズ
ワインより甘いキス……………ジミー・ロジャース
ビキニスタイルのお嬢さん……………ブライアン・ハイランド
ビー・バップ・ア・ルーラ……………ジェリー・リー・ルイス
煙が目にしみる……………ザ・ブラターズ
ヤケティー・ヤック……………ザ・コースターズ
アィム・ソーリー……………ブレンダ・リー
悲しき街角……………デル・シャノン
夏の日の恋……………バーシー・フェイス・オーケストラ
ハイスクール・コンフィデンシャル……………ジェリー・リー・ルイス
ルシール……………リトル・リチャード
シングル盤/タミー・ビキニスタイルのお嬢さん<ピクチャー>悲しき街角<キング>夏の日の恋<エピックソニー>より発売!

オンリー・ユー……………ザ・ブラターズ
テキラ……………ザ・チャンプス
リトル・ダーリン……………ザ・ダイヤモンド
この世の果てまで……………スキーター・デビス
レッツ・ツイスト・アゲイン……………チャビー・チェッカー
ひとり淋しく……………ブレンダ・リー
ハワイ?……………フランキー・アバロン
スリープ・ウォーク……………サント・アンド・ジョニー
ラストダンスは私に……………ザ・ドリフターズ
マイ・リトル・ワン……………フランキー・レイン
つの想い……………ティ・ペアーズ
ローラに好きだと言ってくれ……………レイ・ピーターソン

朝もやの中に、ベンジーの声が響きわたる。

「タミー、タミー!!」

朝陽に映える2人の瞳。優しい光に包まれて、いま、一つの素晴らしいステディが生まれた……。

「ベンジー、よかったね!おめでとう!」誰にでも訪れる「人生の輝ける時」。思わず喝采を送りたくなる感動のラストシーン——。

全世界の若者に暖かく迎えられ、永遠の青春のバイブルとなったあの「グローイング・アップ」が帰ってきた。その名は、——グローイング・アップ2——「ゴーイング・ステディ」。素敵な響きを持つ「ステディ」とは、1対1の交際という意味。もちろん、プレイボーイのボビー、太っちょで3枚目のヒューイ、そして、我らがヒーロー、ベンジーのおなじみの3人が今回も主役で、ちよっぴり「グローイング・アップ」した元気な姿を見せてくれる。

前作で恋して、傷ついて、青春のほろ苦さを味わったベンジー。今回は「ミスター・ロンリー」から立ち直り、新しい恋に挑戦する。そのマドンナの名はタミー。誰もが経験する青春の瞬間を、全24曲のオールディーズ・ロックンロールのナンバーに乗せて優しく描いたのがこの「ゴーイング・ステディ」だ。

相も変わらず勉強そっちのけで「ナンパ」に励む3人組。ある日、ベンジーは長い髪の少女タミーに一目惚れ。思い込んだらとことん突走る我らがベンジーは、果敢にアタックし、2人の間は急速に接近。しかし、ある晩のバジャマ・パーティーで、ベンジーは夢中のあまりタミーの胸にタッチ、彼女は怒って家に帰ってしまった。ベンジーはヤケ酒をあおって、ベッドにダ

ウン。それを見ていたメガネのマーサは、ベンジーを慰めようとバジャマを脱いで、彼のそばに横たわった。そして運悪く、その場をボビーに目撃されてしまったのだ。

そんなある日、一つの事件が起きた。ベンジーに浮気をなじられたボビーは、軽率にもベンジーとマーサの一件を喋ってしまったのだ。ヒューイ、タミー、マーサ、そして、ベンジーはそれぞれに傷ついた。しかし、深い悲しみに耐えながらも誠実を貫き通すヒューイのお陰で誤解も解け、ベンジーとタミー、ヒューイとマーサはそれぞれ「ステディ」に……。

どこにでもいるような3人組が織りなす、どこにでもある青春の断片。ドジでおっちょこちよいの君にも、プレイボーイの君にも、そして、思い込んだら一直線の君にも訪れる「人生の輝ける時」。そんな素晴らしい瞬間を、より濃やかに、より優しく浮き彫りにした「ゴーイング・ステディ」は永遠の青春像といえよう。

今回も50年代のファッションやロックンロールが随所に散りばめられ、ワイドになったスクリーンの中でエネルギーにはじけ、デビー・レイノルズの「タミー」をはじめ、「夏の日の恋」「悲しき街角」「ビキニスタイルのお嬢さん」など全24曲のオールディーズ・ソングが若者たちの心情を歌う。

スタッフ、キャストは前作と同じ。監督はボアズ・デビッドソン、脚本は監督とエリィ・ティバーの共作。ベンジーにはイフタク・カツール、ボビーにはジョナサン・シーガル、ヒューイにはツアッチ・ノイ、そして、新しいヒロイン、タミーにはイボンヌ・ミカエルがそれぞれ扮している。

(上映時間 1 時間 31 分)

Going Steady
〈カラー作品〉米・イスラエル合作
監督ボアズ・デビッドソン
サントラ盤/エピック・ソニー
日本ヘラルド映画

誰にも訪れる「人生の輝ける時」 増淵 健 (映画評論家)

青春だから春とはかぎらない。青春には四季があり、秋もくれば冬もくる。恋の敗者が、ある日勝者になるこの物語は、キミを勇気づけずにはおかない。春のこない年がないように、誰にも勝者になるチャンスがあることを教えてくれる。

キミはいつかベンジーになる。その時、キミの腕の中にタミーがいる。これは夢ではない。自然の摂理だ。

乾杯!春をむかえるキミとキミのタミーへ。



帰ってきた!

ゴーイング・ステディ
グローイング・アップ2

♪新春第2弾青春大ロードショー

歌舞伎町・コマ劇場前
新宿 **グランド・オデオン** (202) 0141